

テーマ

「相沢はなぜエリスに豊太郎が帰国することを伝えたのか」

①私は、舞姫を読んで、豊太郎やエリスに大きな影響を与えた、相沢がエリスに豊太郎の帰国を伝えた場面が一番印象に残った。その場面の中でも相沢がなぜエリスに豊太郎の帰国を伝えたのかが気になり、テーマにすることにした。

私はまず相沢の行動や時代背景から、相沢は豊太郎に対してどういう気持ちを持っていたか、またエリスに対してどう思っていたのかを述べて、次に豊太郎の性格の面から推測されることを挙げて「相沢は人に流されやすい豊太郎と共に帰国させるために、自分からエリスに豊太郎のことを話すことで、帰国せざるを得ない状況をつくろうとした。」という結論にいきついた経緯を説明しようと思う。

②まず相沢の行動から考えると、豊太郎が職を失ってしまった時に、相沢は東京にいたにもかかわらず豊太郎の免官の情報を聞いて豊太郎のために職を与え、豊太郎を助けている。そこから相沢にとって豊太郎はとても大切な存在であることが推測される。

また P286「学識あり～示すに若かず。」という相沢の発言より、相沢は豊太郎の才能の豊かさをよく知っていて、その豊太郎が免官させられ、汚名を負ったことに対して豊太郎のことを大切に思っていた相沢には耐えられず、豊太郎の能力を人々に認めさせようとしていたと考えられる。

また明治の時代背景から考えると、この物語は明治時代の話であり、明治時代は国のためという考えが強く、国の役に立つことは誇り高いことであると考えられていた。そのため、豊太郎ほどの才能を持っている人物が自分の力を発揮できずに埋もれていくことを相沢はもったいない思っているとも考えられる。それに対し P286「またかの少女～意を決して断てと。」という部分より豊太郎が地位を取り戻し、その能力を活かせるようになるにはエリスが豊太郎にとって邪魔な存在であると相沢が考えていることが分かる。

また、豊太郎の性格から考えると、豊太郎は優柔不断で人に流されやすい性格であり、相沢も P286「この一段のことは～出でしなれば」と言っているように、豊太郎の心の弱さを認識している。

③このような経緯で相沢は、豊太郎が大臣に信用されて、共に帰国するのを勧められた事を、エリスに反対されることで人に流されやすい豊太郎の意志が変わってしまうことを恐れて、自分からエリスに都合のよい様に話すことによって豊太郎が自分たちと共に帰国せざるを得ない状況をつくったのだと考えられる。